

平成21年度第2回田辺市勤労青少年ホーム運営委員会議事録

日時 平成22年3月25日(木)

19:30~20:30

場所 勤労青少年ホーム2階会議室

出席者

運営委員 ・ ・ 山本純委員長・小山委員・山下善委員・松下委員・松崎委員
森委員・乙井委員
教育委員会 ・ ・ 三栖館長・山下主査

1. 開 会

山本委員長より

2. 議 題

(1) 平成21年度勤労青少年ホームの運営実績について

山下主査から説明(別添P1~2を参照)

(2) 平成22年度勤労青少年ホームの運営(予定)について

山下主査から説明(別添P3~5を参照)

(3) 若まつり

山下主査から説明(別添P6~10を参照)

3. その他

(1) その他

・平成21年度田辺市青年ネットワーク活動実績について

山本委員長(青年ネットワーク代表)から説明(別添P11~13を参照)

主な意見等

山下善委員 : 「わかしお」あげてのイベント、例えば、弁慶ゲタ踊りや若まつりは、利用者、教室間の交流に非常によいイベント。だが、一方では、学ぶだけ・習うだけの利用者もあり、そういう方たちは、必ずしも、わかしおに来て、交流や友達の輪をひろげる意識はないと思う。利用者一人一人に、ここは学ぶだけではなく、コミュニケーション(交流)の場であることも意識づけしなければならない。

森委員 : ほとんどの利用者は、ここは習い事を安くできるということで、

登録し利用していると思う。新しい友達を作ろうという気持ちはないのでは。

小山委員 : 交流促進という意味では、1Fにある談話室を、もっと有効に活用できないか。自由に出入りできるだけでなく、コーヒーやお茶等を無料で提供するとか。

事務局 : 以前、談話室で、お茶を出していたとの話を聞いたことがあります。利用者会費もありますので、一度事務局で検討させてください。また、利用者一人一人の意識づけは、年度当初の教室開講日に配布する教室一覧表チラシに、わかしおの存在意義をあらためて記載したい。

乙井委員 : 行事予定について、クリスマス交流会や若まつり等の日時を、事前に決定し、年間予定表として年度当初にチラシにして配布してもらいたい。そうすれば、事前に利用者の方が知り得るので、さらに参加者が増えるようになると思う。

事務局 : 分かりました。
また、教室の件で、来年度から華道教室がサークルに移行するので、教室の空きがあります。何かお勧めの教室はありませんか？

小山委員 : 書道やメイクもいいのですが、視点を変えて、市内の地域学教室や、熊野古道を歩く教室(サークル)などはどうか。

乙井委員 : 来年度の利用者を対象に、アンケートを実施してはどうか。それと、わかしおの開館曜日、開館時間に疑問を感じる。なぜ、勤労青少年ホームでありながら、日曜日が閉館であり、閉館時間が21時なのか。勤労している方は、大抵日曜日は休みであり、最も利用したい曜日ではないか。また、21時に館を閉めるには、早いと思う。公民館は22時ではないのか。わかしおの教室・サークルの利用時間帯は19時～21時であるが、20時～22時にならないものか。

事務局 : 分かりました。希望する教室・開館曜日・閉館時間のアンケートを実施するようにします。その結果をふまえて、事務局で協議したい。

山本委員長 : 開館曜日や時間を変更するのに、条例をさわる必要があるのか。議会の承認がいるのか。

三栖館長 : 条例で明記していないので、議会に承認は必要ありませんが、規則の改正をする必要があります。臨時的には、館長の裁量で変更できるかと思いますが、いずれにいたしましても、開館曜日・時間につきましては、臨時職員等の問題もありますので、検討させていただきたい。

4. 閉 会

三栖館長より